

※にいじまむら 議会だより

第 84 号
平成 30 年 5 月



平成 30 年第 1 回定例会（3 月）

会 期 日 程

第 1 回定例会は平成 30 年 3 月 6 日から 26 日まで開催され、新年度予算、各種補正予算、新規条例・条例改正などを審議しました。

も く じ

表紙は語る	2
一般質問から	2
議会にいきかう言葉	3
ほっとプレイス	7
議員の月間リレー日記	7
議長の目ランド	9
特集 新島村まち・ひと・しごと創生	10
議長の四季報	16
編集後記	16

Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

問 新島村の再生の鍵となる産業の育成は？
村は産業に対しどういった方向性・



山本均 議員

答 人口が減少している中、産業全般にわたり後継者不足が大きな問題となり、島外からの人材受け入れや定住化住宅の整備も検討していかねばならない。今後、各団体と協議して取り組んで

展望を持ち、新年度以降の各事業が未来に向けての着実な進歩となり得るのか、わかりやすく示してほしい。



ゴールデンウィーク初日の新島港の下船風景。

表紙は語る

3月定例会の会場の土曜日、最終日となる式根島みに博物館、みに資料館を見学した。二月の土日を中心に7日間解放され、毎回40、50人が訪れる盛況ぶりである。会場の足付船客待合所は一昨年11月の改修式典以来の利用例と思われる。

主催は式根島青年団 しきね想島会（そうとうかい）で、自発的に海岸清掃や地域での賑わい

イベントを行っている。会場には、式根島の元教員による1万点以上の生物標本や、式根島の自然文化の資料や、草木染めの展示、体験ブースや流木アートのベンチなども設置されていた。

箱物（ハード）の整備は、このように血の通った活動（ソフト）と合わさってこそ、島おこしになると感じた。

（取材・木村諭史）